



新人看護師の初期研修紹介

宮崎生協病院 看護総師長 / 井上 友香

宮崎生協病院では、毎年7名～8名の新人看護師さんが入職します。
今回は、新人看護師さんの初期研修の中でも特徴的な研修についてご紹介させていただきます。

1 技術研修



基本的な看護技術を中心に、年間通して技術研修を行います。
バイタルサイン、採血、点滴、医療機器(シリンジポンプ、輸液ポンプ)など

2 模擬患者入院体験



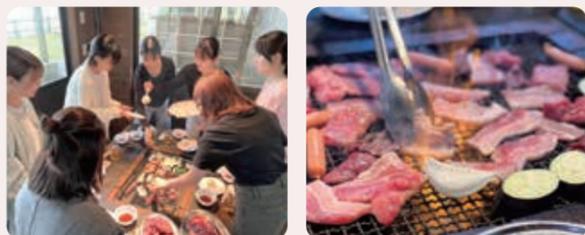
入院する患者さんの気持ちになって、看護を考えてもらえるように、1泊入院の患者体験をします。病院食を食べたり、酸素を吸ってみたいします。
翌朝、振り返りをしてどんなことに気づいたかをまとめます。

3 他部門研修



検査技師や薬剤師、リハビリスタッフや事務スタッフがどんな仕事をしながら、どんな連携をしているのかを学びます。

4 デイキャンプ



同期全員が集合して、病院外でリフレッシュする企画です。学習をしたあとは、BBQでお腹を満たします。



5 時間切迫多重課題



スタッフの少ない夜勤帯の勤務を想定し、急変や転倒などの同時多発事例が発生した際に優先順位を考えるという研修です。

このように、年間通して基礎的技術が習得できるように、このような研修を行っています。1年目が終わるころには、グッと成長して、安心して任せられます。就職を考えている学生さん、一度説明を聞きにきませんか？卒後研修説明会は随時開催しています。興味のある方は、ご連絡ください。

宮崎生協病院 師長室 0985-24-6877 mail: coopshichoushitsu@san.bbiq.jp



フードパントリー

FOOD PANTRYのご紹介

フードパントリーとは

生活に困っている人々に
食料を無料で配布するための地域の拠点、
フードドライブとは食べきれずに余っている食材を
破棄せず必要なところに
品物が届くようにすることです。

私たちは、医療や介護・福祉に従事する専門家として「安心して住み続けられるまちづくり」の運動を行っています。さまざまな団体や個人の連携と共同の輪の広がりのなかで、要求実現の取り組みが行われています。協同という言葉には、「心をあわせ助け合い共に仕事をする」という意味があります。私たちは地域の方々と協力しながら「安心のまちづくり」実現を目指しています。



食材を選ぶ
医学生



2021年より、医系学生サポートセンターでは学生向けに月に2回食材支援のサポートを開始しました。配布食材は、医療生協職員、地域の方々、組合員の皆さん、フードバンクみやざき様や企業様からのご協力頂いております。毎回10名程度の学生が参加し、現在まで200人を超える学生へ食材支援を行いました。学生からも好評で、リピーターとなっている方も多く、学校生活やプライベートの相談をしてもらって職員と学生さんとの交流の場ともなっています。

学生からは「アルバイト収入が減って生活費が足りなかった、とても助かる。」「実習などで忙しいので助かります」「生理用品や日用品などあり助かります。」などの声を頂いています。食材支援という小さな支援しかできませんが、少しでも安心して学習ができる環境を今後も支援の継続をしていきたいと思います。